

児童教育学科



島 善信教授

- ① 学士(生物学)
- ② 教師教育
- ③ 教職関連科目
- ④ 次代を担う人として、あなたらしく成長できるよう応援したい。

後援会より

千里金蘭大学後援会 令和2(2020)年度総会報告

令和2(2020)年度総会が9月27日(日)に本学にて開催されました。まず、開催に先立って行われた役員会において、会長、副会長および監事の選任が行われた旨の報告がありました。その後、決議事項として、平成31(2019)年度事業報告・決算および令和2(2020)年度事業計画・予算が承認されるとともに、新入生保護者役員が選出されました。今年度の決議事項として、昨年度承認された3号館2階食堂の椅子の一部入れ替えを、今年度一括入れ替えとすることが承認されました。

また、午後には就職セミナーが開催され、約30名の会員の皆さまにご参加いただきました。セミナーでは、一般社団法人キャリア・ラボの小松仁美氏を講師としてお招きし、「就活における保護者支援の重要性～コロナ禍を乗り越えるために～」と題したテーマでご講演をいただき、コロナ禍での就職活動を控えておられるご子女との向き合い方を考える充実した時間となりました。

後援会はこれからも、学生へのよりよい教育環境の提供をすべく事業の充実を図ってまいります。保護者の皆さまには、引き続きご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

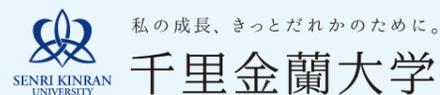
- 会長 | 水谷 秀子
- 副会長 | 星加 映子
- 監事 | 妹背 慶子  
(敬称略)

千里金蘭大学 後援会事務局(千里金蘭大学内事務局)

◇ 本学ホームページに後援会ページを開設しておりますので、ぜひご覧ください。  
<http://www.kinran.ac.jp/kouenkai/>

年間スケジュール(後期)

2020	2021
10月 17日(土) 総合型選抜基礎学力型A日程	1月 6日(水) 授業開始
18日(日) 総合型選抜基礎学力型B日程	12日(火) 専門科目、保育・教職科目調整期間(1/12-14)
11月 3日(火・祝) 祝日授業日	15日(金) 臨時休講
23日(月・祝) 祝日授業日	16日(土) 大学入学共通テスト
12月 13日(日) 総合型選抜基礎学力型C日程	17日(日) 大学入学共通テスト
22日(火) 年内最終授業日	22日(金) 後期最終授業日
28日(月) 冬期一斉休業(12/28-1/5)	24日(日) 一般選抜(前期)
	25日(月) 授業予備期間(1/25-29)
	2月 12日(金) Web成績発表
	14日(日) 一般選抜(中期)
	25日(木) 一般選抜(後期)
	3月 5日(金) 保護者宛成績発送
	15日(月) 学位授与式
	17日(水) 一般選抜(後期S)
	21日(日) オープンキャンパス



千里金蘭大学 広報室  
〒565-0873 大阪府吹田市藤白台5-25-1 tel.06-6872-7854  
発行/令和2(2020)年11月30日  
大学web <http://www.kinran.ac.jp/> <受験生応援サイト <http://www.kinran.ac.jp/cheer/>>  
公式Twitter <https://twitter.com/senrikinranuniv>  
公式Facebook <https://www.facebook.com/SenriKinranUniv/>  
受験生応援ブログ <http://www.kinran.ac.jp/cheer/blog/>

編集後記

学内で臨地実習が行われるなど、いつもとは異なるキャンパスですが、学生の声によって明るい雰囲気になっています。SDGsに「貧困」「飢餓」「保健」「教育」が掲げられているように、今の学びは今後の人生につながる学びだと思えます。大変な時期を乗り越えていくという経験も、きっと今後の人生にとってプラスになることと思います。



私の成長、きっとだれかのために。



- 01 学生支援策について
- 02 学科 MESSAGE
- 03 ゼミ探訪 vol.8
- 04 ゼミ探訪 vol.9
- 05 百花繚蘭祭
- 06 部局 MESSAGE
- 07 新任教員紹介  
後援会より  
年間スケジュール



千里金蘭大学 学長  
島崎 靖久

保護者の皆さま  
学生の皆さん

## 新型コロナウイルス感染症：前期の振り返り、今後について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、今年は異例づくめの年となっています。

前期授業においては、種々の問題を考慮しつつ、安全第一のもと、継続的な学習を維持させることを命題とし、約1か月半にわたり、対面に替えてwebなどによる遠隔授業を実施しました。しかし、本学では対面授業に軸足を置くことを重視し、私立大学のうち対面での授業を完全再開したのが2割に満たない中、6月1日から対面授業を再開し、7月22日に前期授業を滞りなく終えることができました。保護者の皆さま、学生諸君、教職員の皆さまのご理解・ご協力と努力の賜と、改めて感謝しております。

遠隔授業については、学生の皆さんから多くのご意見をいただきました。学生の皆さんと教員の双方で、創意工夫により新たな教育効果も確認することができた一方で、パソコンやスマートフォンによる受講や課題提出にはさまざまに苦慮されたものと察します。また、新入生の皆さんには、入学式直後の学内入構制限によって、大学生となった実感がともなわず、学生生活への不安や心配などもあったことと思います。この経験は、今後の授業のあり方にも影響を与え、今後新しい展開につながることを考えています。

なお、前期中の遠隔授業の導入によって生じた、教材などの印刷費や通信環境整備などの経済的負担の声に鑑み、遅ればせながら、学生の皆さんに1万円分のクオカードを支給することを9月下旬に決定し、学生諸君の現住所宛に送付いたしました。今後の学修に向け、ぜひ有効活用してほしいと思います。

後期授業もほぼ通常どおりに始まりました。新型コロナウイルス感染症については、いまだ収束の目途が立っておりませんが、学生諸君は、今回の経験を活かし、特にこれらに立ち向かう勇氣は、これからの時代を生きていくうえで、大きな意味を持つてくるものと確信しています。

これからも有意義に、学びを深めていってほしいと思います。

## 新型コロナウイルス感染拡大の影響にともなう 学生支援策について

本学では、令和2(2020)年度前期授業におきまして、新型コロナウイルス感染拡大にともなう政府の緊急事態宣言を受け、4月8日から5月29日までwebなどによる遠隔授業を実施いたしました。その後6月1日から対面授業を再開いたしました。

遠隔授業期間中においては、学生の皆さんにとって、通信費や教材の印刷など想定外の出費がともなったことなどに鑑み、些少ではありますが、1万円分のクオカードを一律支給することといたしました。

また、学費などの支援として、新型コロナウイルスの直接的・間接的な影響により家計が急変し、学修困難となった学生に対する新たな授業料減免制度を策定いたしました。(※申請の受付は9月末をもって終了させていただきました。)

いまだ新型コロナウイルスの感染収束の目途が立っておりませんが、本学では、今後も引き続き、学生の皆さんが安心して学修を継続できるための支援方を検討してまいります。

## 学科 MESSAGE

### 食物栄養学科

食物栄養学科長  
石川 秀明

## コロナ禍の食物栄養学科近況報告

新型コロナウイルス感染症の拡がりに翻弄されていますが、食物栄養学科の上半期を総括いたします。まず今春卒業生の管理栄養士国家試験合格率は95.1%と全国平均(92.4%)を上回りました。今後は合格率100%を目指して、なお一層努力いたします。今春卒業生の就職率は98.6%で、栄養士または管理栄養士の資格を生かした就職が6割程度となっています。今後の就職状況の変化を注視してまいります。教育面では、自宅学習期間中には教育の公平性に配慮し、対面授業再開後は一部実験・実習科目の補講を行い、予定の授業を終了しました。学外での臨地実習や教育実習は、短縮や学内での演習に切り替えて実施しました。今年度前期の成績は、昨年度同時期と比較しても遜色ないことから、学生諸君の頑張りがあったのだと嬉しく思います。残念ながら学科として予定していた活動の多くが中止・延期となりましたが、すいぱんの販売開始やEaTrend LAB.の活動(別記)、卒業生講演会(写真)などを実施しました。今後も感染拡大防止に最大限留意しつつ、学科教育を継続していく所存ですので、更なるご理解とご協力をお願いいたします。



### 児童教育学科

児童教育学科長  
早田 由美子

## 工夫の年です！

今年は新型コロナウイルスのために、通常とは異なる面はありましたが、重要な体験が安全にできるように、工夫しながら対応を進めてきました。その結果、実習の時期を移動するなどして、幼稚園や小学校での教育実習、保育園での保育実習、そして保幼小でのインターンシップを無事に終えることができました。本学科の特徴である地域の親子さんとの学内施設での交流も、知恵を絞って再開。7月からは「子育てひろば」を2部制にしたり、「おやこクラブ」もより小さなグループ制にしたりして、蜜を避け活動しています。待望の再開で、1年生は目を輝かせて子どもたちとの交流を深めています。新カリキュラムになって2年目の今年は、子ども音楽療育士の科目や「総合表現」という新規科目も開始し、新たな領域に関する学びにもチャレンジしています。



### 看護学科

看護学科長  
藤田 俱子

## 実り多き後期に向けて

暑かった夏も終わり、いよいよ令和2年度の後期のスタートとなりました。新型コロナウイルス感染症対策として、前期は遠隔授業の期間がありましたが、後期は対面式授業で実施しています。後期では、1年生の専門科目がいくつか増えて、看護をさらに深く学んでいくこととなります。2年生では、基礎看護学実習Ⅱにむかって、さらに看護技術や各領域の専門性の高い学修を行っています。3年生はこの後期全体で成人看護学、母性看護学、小児看護学、老年看護学、精神看護学、在宅看護学の各領域の実習を行うことになり、緊張も高まっていることと思います。4年生は看護研究と国家試験対策のために、寸暇を惜しんで勉強に取り組んでいることでしょう。健康に留意し、それぞれに実り多き後期となるように願っています。



# ゼミ探訪 vol. 8

食物栄養学科  
イートレンドラボ



武智 多与理 教授

## トレンドを分解して、新商品を開発

今年度、食物栄養学科では「EATREND LAB. (イートレンドラボ)」という研究所が立ち上がりました。これはイート(食べる)とトレンド(流行)を掛け合わせたもので、トレンドを紐解き、悩み、学ぶ、研究所です。栄養学の力でトレンドを生み出し、世の中の課題やモヤモヤを解決しよう!というのが目指すゴールでした。この活動は、KUUMAという企画・編集会社の指導の下、4回の授業形式で進みました。当初、第1回授業は4月下旬の予定でしたが、コロナ禍の中延び延びとなり、6月初旬に、オンライン授業で開催されました。第1回目のテーマは「トレンドを分解してみる」で、イートレンドラボの目的や今後の活動について、説明を受けました。このあと、活動に参画したい多くの学生が応募し、抽選の結果、2チーム(12名)体制で活動が本格的に始まりました。各授業のテーマは、第2回目「モヤモヤから新メニューのメッセージ作りを」、第3回目「プロのシェフと一緒にブラッシュアップ」、第4回目「お披露目に向けて作戦会議」でした。4回の授業を経て、各チームからそれぞれ「そうめんパーティの形」と「ビスコッティ」を提案しました。そして、8月16日(日)本学のオープンキャンパスで、自分たちの考えたメニューを披露しました。イートレンドラボは、課外活動です。チャレンジ精神、解決したい課題が何かを見つけ出す力、問題解決のためにどうしたらよいかを判断する力、栄養学が世の中でどう役立っているのか見極める力などなど、学生にとって多くのことが得られた取り組みでした。活動報告やお披露目の様子など、本学ホームページ食物栄養学科のブログに載せてますので、のぞいてみてください。



トレンドを細かくワーク



シェフからの直接指導



オープンキャンパスでのプレゼン



ビレッジマート吹田で販売

### ◆◆◆ ゼミ生メッセージ ◆◆◆

私がイートレンドラボに参加しようと思ったきっかけは、トレンドとは一体なんだろうと感じ、トレンドの根本を学びたいと感じたからです。このイートレンドラボを通して一から作り上げる企画力、発想力、思考力を身につけることができました。作る知識は調理学から、栄養素に関する知識は食品学から、テーブルコーディネート知識はフードコーディネート論からなどと、実際に自分が授業で学んだことを活かせることに感動しました。将来は、更に注目されるであろう健康意識に「食」でサポートできる管理栄養士として活躍していきたいです。

3年生 星加 久瑠実 さん

企業とのコラボということで、学外実習などとは違った経験ができると思い、参加しました。企画はどのようにしてできるのか、それを社外に出すまでにどれだけの人と柔軟な発想が必要なのかがわかりました。学生と社会人の力の差が感じられ、自主的に動くことの大切さ、リーダーとしての統率力、状況に応じた判断力が身につく、とても有意義な時間でした。このような機会があれば、とても良い経験になるため積極的に参加することをおすすめします。今回の経験を就職活動に生かし、アピールポイントなどにしていきます。

3年生 萩原 弥優 さん

# ゼミ探訪 vol. 9

児童教育学科  
保育ゼミ



岸本 みさ子 准教授

## 「子どもが主役」の保育活動を考える

児童教育学科2年次は、造形ゼミ・福祉ゼミ・教育ゼミ・スポーツゼミ、そして今回ご紹介する保育ゼミの5つのゼミに分かれています。保育ゼミでは、保育・幼児教育でキーワードとなる「養護と教育が一体的に展開する保育」「遊びによる総合的保育」「環境を通して行う保育」「子どもの主体性を尊重する保育」「生活や発達の連続性に考慮した保育」といった視点について、体験を通して検討することを主な目的としています。主な活動は、遊びの体験や保育教材研究を行っています。遊びの体験では、子どもたちの遊びを体験し、保育内容5領域に照らし合わせながら、遊びを通して子どもたちはどのような力を身につけているのかなど、ディスカッションしながら振り返り、学びを深めます。先日は、泥団子づくりを体験しました。「たかが泥団子、されど泥団子」です。簡単に感じる泥団子づくりの中にも、様々な育ちの要素が含まれています。「どうやったら割れにくくなる?」「ピカピカにするためには?」といったことを試行錯誤しながら取り組みます。友だちとの関わりも重要です。割れにくくするための水分量・握る力加減・光る泥団子にするためにはどうやって磨けばいいのか等々、友だちと相談し、失敗を積み重ねながら納得のいくものを作っていく過程。これこそが、乳幼児期に大切にしたい体験的な学びだと考えます。学生たちもこの過程を経験し、活動の振り返りを行うことで、保育者として、どのような環境を準備すればいいのか、どのような援助が必要なのか、子どもにどのような気づきを提供できるのかといったことを考え、保育活動を観る視点を養っていきます。保育は環境を通して、生活の中で行われる営みであり、日々の当たり前を見直すことが大切です。「子どもが主体的に学ぶことができる環境とは?」といった点に目を向けることができる保育者を目指して、これからも保育ゼミでは、様々な体験学習を積み重ねたいと考えています。



2019年度パペット



パペット



手作りおもちゃ



泥団子づくり

### ◆◆◆ ゼミ生メッセージ ◆◆◆

私は自分の通っていた幼稚園の先生に憧れて保育職に興味を持ち、4年間で子どもと継続的に関わることのできるこの大学に魅力を感じ入学しました。1年生の授業で保育について学び、「子どもの遊び」について更に興味をもち、保育ゼミに入りました。ゼミでは対面授業ができなかったときには各自作ったおもちゃをzoomで発表しました。対面授業再開後は伝承遊びを体験し、自分自身が実際に体験する事で子ども達の気持ちをより理解する事が出来ました。また、保育教材としてパペットも作りました。これらの経験を今後の学びや実習に生かしていきたいと思っています。

2年生 西川 史織 さん

私が千里金蘭大学にした決め手は1年次から親子クラブなど子どもと触れ合う機会が多く、実践的に学ぶことが出来るということでした。保育ゼミでは、実際に保育現場で活かせる活動をしています。千里北公園での自然遊び体験や、学生同士で試行錯誤しながらピカピカの泥団子を作りました。子どもが遊びを通して考えていることを、身をもって感じることが出来ます。実践を通して子どもが得られる学びを体験できるので、私も童心に戻って楽しんでいます。これからも様々な体験を通して専門性を磨いていきたいです。

2年生 松田 果子 さん



# 百花繚蘭祭 ～もう一度～

吹田市制80周年

大学祭実行委員

モザイクアートを  
作成します

大学祭の  
ポスターを掲示

今年の大学祭は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学外の方々をお呼びした模擬店やイベントを行う例年通りの大学祭の開催を見合わせる事となり、感染防止対策を行いながら開催する方法を模索するところから始まりました。“今を乗り越え、もう一度手を取り合って、みんなで未来を向いて歩いて行こう”という思いを込めて、「もう一度」とテーマを掲げ、コロナ収束の願いも込めて、規模縮小のもと、学内限定の大学祭として10月30日に打上花火を開催しました。新型コロナウイルスの影響により、世の中には悲しいニュースが飛び交い、楽しいイベントや全国各地の花火大会も中止になりました。現在でも多くの方が新型コロナウイルスと闘っています。そんな状況下ではありますが、“皆さまの心が元気になり、もう一度前を向いて歩き出せますように”との思いを込めて打ち上げた花火は例年以上に豪華な演出で感動的なものとなりました。学内外問わず、この様子をぜひとも多くの方々に観ていただけるよう、打上花火映像に加え、部活動の映像やモザイクアートを動画にし、後日YouTubeにて配信する予定にしています。モザイクアート作成にあたり、メッセージ記入にご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。

## 部局 MESSAGE

**教養教育センター**  
教養教育センター長 岩谷 智

### SDGsと教養教育

近年よく目にするようになったSDGs(「持続可能な開発目標」)ですが、「17 Goals to Transform Our World」というサブタイトルをご存じですか。17の具体的な目標によって「我々の世界を変革」していこうという大きな視野を持った取組なのです。私たちの大学はとくに第2目標「飢餓」、第3目標「保健」、第4目標「教育」に係わる専門教育を行っていますが、教養教育においても各自が専門の枠をこえて協力しながら問題解決にあたっていけるような基盤づくりの役割を担っていきたくと考えています。

### 付属図書館

付属図書館長 登喜 和江

### ご存じですか? 電子ブックの購入希望申込みについて

この度の感染症流行という事態の中で、来館せずとも利用できる電子ブックの利用が各図書館で高まっています。本学図書館でも学生の皆さんの学習に役立つ電子ブックを購読契約しています。紙の書籍と同じように、電子ブックも購入希望が出せることをご存じですか。来館せず利用できる便利な電子ブックですが、個人向けと図書館向けでは販売されるラインナップが異なります。図書館向けに販売されている電子ブックの情報は、図書館HP上の購読一覧と同じページに掲載しています。一覧に無く、学習に役立てたいと思う電子ブックがありましたら、図書館までお申込みください。

### 教職支援センター

### 先輩たちの活躍に 励まされ

今年は、新型コロナウイルス感染症の影響で、小学校も例年とは異なるスタートですが、「教育の現場で、子どもたちと有意義な毎日を過ごしています。」という多くの卒業生の声が届いています。千里金蘭大学で学び、活躍する先輩たちの姿に励まされ、この夏も教職支援センターでは、暑さに負けず教員採用試験の直前対策に取り組みました。コロナ禍のもと例年にはない課題もある中で、大阪府豊能地区や大阪府、北海道の公立学校教員採用試験をはじめ、公務員採用試験(保育士)では、吹田市において合格者を出すことが出来ました。これからも学生たちの活躍に期待しています。

**地域共創センター**  
地域共創センター長 岩谷 智

### 地域との連携

「すいパン」食べていただいていますか?米粉入りのモチモチ食感が好評で、本学における販売では毎回売り切れが続いています。この企画は吹田市役所のenZINEというチームの発案で始まりました。そして食物栄養学科による米粉に関する専門知識の提供および学生による試作を経て、吹田市障がい者の働く場事業団がパン作りと販売をしています。地域連携にはさまざまなかたちがありますが、大学の教育研究と社会が直接つながるこのようなありかたが理想的です。私たちはこうした取組をさらに拡充していきたくと考えています。

### 情報処理教育センター

情報処理教育センター長 小野 淳

### 貸出用PCの整備について

前期授業では、コロナウイルス感染症のため、一部遠隔での授業を強いられました。今後のこともありますので、大学では貸出用PCとしてChromebookを整備する予定になっています。Chromebookでは大学で利用しているメールや教材提示などを行うClassroomと連携することが容易となりますので、遠隔授業の際に、課題の作成や提出などにご利用いただこうと思います。また、遠隔授業での困った際には、情報処理教育センターまでご相談ください。よろしくお願いたします。

### 教学センター

### インフルエンザ 流行期に備えて

毎年、12月下旬から本学でもインフルエンザに感染する方が増えます。今冬は、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザに備え、日常からの感染予防に対する学生皆さんの一人ひとりの意識と行動が今まで以上に大切になります。今一度、感染防止対策についてご留意いただきたく、大学内はもとより、アルバイトや余暇活動等の学外での行動においても、引き続きマスクの着用、手洗いや手指の消毒といった基本的な感染予防をはじめ、3密の回避やソーシャルディスタンスなどの感染防止に努めていただくようお願いいたします。

### キャリアセンター

### 採用活動の変化に対応

厚生労働省によると、2020年9月の有効求人倍率は前年同月に比べ、0.54ポイント悪化の1.03倍と発表されました。一部の業界ではすでに新卒採用を中止しており、これまでの売り手市場から大きく環境が変わると見られます。コロナ・ショックによってテレワークなど新たな勤務体系の導入が進み、そうした企業活動の変化は採用活動においてもオンラインのセミナーや面接などへ変化をもたらしました。キャリアセンターでは、時節に応じた変化を敏感にキャッチし、新しい取り組みを取り入れ学生の皆さんを支援してまいります。